

平和が いちばん

2016年4月15日
第 106 号
平和で豊かな枚方を
市民みんなで作る会



「戦争法廃止 2000
万署名」が市内各
所で取り組まれて
います。辺野古工
事中断・高浜原発
停止させた力でア
ベ政治を終わらせ
ようとの勢いです。
(4/8 枚方市駅前)

「広報ひらかた」に物申す

4月号をご覧ください。まず市長の「情熱日記」(11p)です。「名護市訪問を終えて」と題して、「友好都市である名護市のお招きで名護さくら祭に参加」し、「おもてなしと郷土料理」が印象的であった、枚方市でも地元産の野菜や食文化などを町づくりに活かしたいと結んでいます。沖縄料理が美味しかったのは良かったし、もてなしに心打たれたのも結構。しかし「それだけ?」というのが市民の率直な感想です。名護市はここ数年、辺野古への新基地建設をめぐる厳しい議論と運動が続けられてきています。「基地負担を押し付ける政府」と「反対し続ける名護市民」のせめぎあいの中で「地方自治を尊重」するために必要なことは何か、市長は名護市を訪問されたことでさらに深い考察をされたことでしょうか。枚方では美術館建設問題があります。市長は「計画白紙」を表明しましたが、名護市関係者との懇談でいろいろ考えられたと思います。そこから得た「情熱」こそ市民は聞きたいのです。

また今号の「表紙」は前号までと違い、文字だけの紙面です。その文言は市長の「28年度市政運営方針」の重点施策6項目。毎年3月議会で表明される市長方針は、翌4月号に特集で掲載されてきています。例えば3年前の4月号は、2ページに「(市長方針の)7つの分野の主な施策」と写真を入れて説明しています。ところが今号は表紙に文字だけで主要施策が並び、2ページから方針全文が掲載されているだけの紙面です。情報を市民にわかりやすく提供しようとする工夫がありません。

広報は大切な生活情報を市民に提供するとともに、これからの市政を一緒に考える紙面です。そのために美術館問題などの焦眉の課題について、市長の率直な意見表明が必要です。意思決定の過程も明らかにするという公約から当然のことです。そして市民が関心を寄せ、議論を深め、市民力を高めるための編集と工夫を大切にしたい広報を要望します。すべては“市民自治のまち”を目指すためです。

直言

美術館問題の解決を 川本康夫

三月議会で伏見市長の市政運営方針の表明があった。沢山の案件があふれている運営方針ですが、選挙公約にもなっていた美術館建設問題には一言もふれられていません。これは何故でしょうか。

一方、「総合文化施設内に整備」という案は、寄付者とは茶室を含めるという条件で協議がされているとの報道もあります。「現金の寄付で云々」とあ

りますが、そもそも市が美術館を持つというのに、肝心の「美術」についての議論がないのはとても不思議なことです。多くの市立美術館をみても、それぞれに目的特徴があります。しかし聞こうとするとするのは建設費、維持費等のお金のことばかり。文化の香りはどこにあるのでしょうか。

市民に愛されているアラカシの森を伐採しようとした経緯は忘れるわけにはいきません。計画に賛成した市議会議員のうち、

どれだけの人が予定地に足を運び住民と対話したのでしょうか？

アラカシの森は、子供達や散歩するお年寄りやラジオ体操の輪の中からも、こっそり行き来するタヌキやイタチまで含めて実に多くの眼差しから見守り続けられてきました。そこから生まれた絵本『アラカシのもり』は大好評です。雨にも負けず、雪にも夏の暑さにも耐えてねばり強く経緯を見守つて来られた香里ヶ丘中央公園見守り隊の運動は高く評価されます。それが単なるハコモノ反対というレベルではなく、文化や環境をめぐり、そして何よりも地域コミュニティのあり方を探る動きだったからでしょう。

絵本原画展に来られた多くの人々の中には伏見市長も居られました。市は早期に方針を明確にし、即時にフェンスを撤去してほしいと思います。

手塚たかひろ 議員日誌

3月15日 **ひこばえカフェ** お茶を飲みながら気楽に思い思いのことを語る企画。今回で2回目。桂枝雀のDVDを観た後、介護問題、美術館問題などなどに話が弾んだ。結論がなくても話せば気持ちがスーとすることも。楽しいひと時、継続したい。

3月19日・25日 ひこばえと南部生涯学習市民センターで「語るつどい」開催 市議会報告と意見交流。市長の市政運営方針に美術館問題が一言も触れられていない。代表質問に対して市長は「方向性が決まっていない。議会でも様々な意見がある。寄付者とも協議中とのことで触れていない」と答弁。参加者から疑問が続出。新たな方針提起から2か月が経過している。市民や議会に何の報告もないことは「市民との協働、政策決定過程でも情報公開を進める」市長の方針に反している。早期の報告が必要だ、寄付者から寄付を受けない、美術館建設そのものを見送ることも選択肢だ、など活発な意見が交わされた。

3月20日 **沖縄連帯！『戦争法廃止を求める2000万署名』を成功させる集い** 山城博治さん（キャンプシュワブ前座り込みリーダー）の現地報告。山城さんは辺野古への新基地建設阻止の展望として、①支援が世界中に広がっている。具体的は米・独・仏のメディアにも沖縄県民の運動が紹介された。また国連人権委員理事会が沖縄現地での機動隊の暴行を問題視していること。②翁長県知事、稲嶺市長が先頭に立って闘っていること。③全国からの闘いへの支援、を述べられた。さらに和解により工事は中断しているが、運動を拡大しこれまで週2回の大行動を週3回に増やす決意が語られた。

3月28日 **本会議最終日** 一般会計予算案・国民健康保険会計・市立病院事業会計に反対討論を行った（詳細は議会報告）。病院駐車場を皮切りに市役所本庁舎や支所などの駐車場の有料化が進められようとしている。事前の市民説明も意見聴取もないまま、通院患者からも駐車・駐輪料金を徴収する。市民サービスの向上へ逆行する動き、反対だ。

3月23日 3月分議員報酬219,600円を大阪法務局へ供託



意見箱

市立病院駐車場の有料化に反対

尾崎 禎治

市立ひらかた病院駐車場の有料化が提案されています。提案内容は、通院患者は入庫後30分迄は無料ですが、30分を過ぎた時点から5時間30分迄200円、それ以降30分毎に100円ずつ加算というものです。又お見舞いの方には入庫後30分迄は無料ですが30分を過ぎるとその時点から1時間300円、以降1時間毎に100円加算というものです。いずれも30分以内は無料ですが、病気治療、健診、入退院等、あるいはお見舞いなどの該当者に院内での待ち時間も入れ30分だけは無料というのはいかがなものでしょうか。このことは例えば市立ではないが近隣の星ヶ丘医療センターが、外来患者は終日無料、見舞者についても入庫後1時間迄は無料で、以降1時間毎に100円加算されるシステムになっており、受診者などに本来の目的以

外の負担は配慮したものとなっています。市内の病院に先駆けて市民のための市立病院一という公立の「市立ひらかた病院」が駐車場を有料化することは疑問だという意見を聞きます。有料にするにしても患者に負担がかからない、先述の病院の料金以下になるよう見直すことが必須と思料します。「市有財産の有効活用」「市民に開かれた市役所」「安心してかかる市立病院」等、これら醸成されつつある市民感情が、駐車場の有料化に伴って通院患者の足が遠のき他の病院に流れるような、こんな本末転倒なことが起きてはなりません。私も有料化はすべきでないと考え、駐車場の有料化を含む病院事業会計案には反対です。なお、病院に用事のない方から駐車料金を徴収することは、当然のことですが本テーマの対象外事案です。

〒573-0027

枚方市大垣内町

2丁目8-27

シンエービル別館A

市民の広場“ひこばえ”

TEL&FAX

072-846-8780

平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

共同代表 黒田 薫（平和都市枚方を考える市民の会）

鈴木めぐみ（親と子のリズム遊び講師）

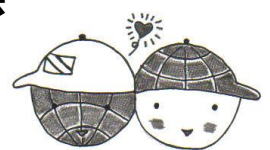
奥村 秀二（弁護士）

おおた幸世（枚方市平和無防備条例を実現する会）

事務局長 手塚 隆寛（枚方市会議員）

メールアドレス：hiratkatasiminnokai@yahoo.co.jp

ホームページ：<http://hiratkatasiminnokai.jimdo.com/>



「会」のシンボルマーク
塔本賢一さん作